



青葉の笛だより

第42号

令和5年 正月号

発行所：大本山 須磨寺

〒654-0071

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8

TEL 078-731-0416(代)

<http://www.sumadera.or.jp/>

ご挨拶

令和四年も我が国はコロナに惑わされまし
た。また、二月末に起こったロシアのウクライ
ナ侵攻による当地の被害は拡大し続けていま
す。また中国の尖閣諸島での威嚇や挑発とも思
える行動に、北朝鮮のミサイル発射も回数が増
えています。更には安倍前首相の銃による暗殺
など、何かしら暗く不安な思いのまま新しい年
を迎えることになりました。

令和五年は癸卯のウサギ歳です。ウサギと言
えばお月様、お月様と言えば、この四年の十一
月八日に皆既月食があり、きれいな赤い月を見
ることが出来ました。そのお月様に何故ウサギ
がいるのかご存じの方も多いと思いますが、少
しお話させてもらいます。

仲の良いサルとキツネとウサギが「人の役に
立ちたい」と語らっているところに、お腹を空
かせたお年寄りが現れ食べ物を求めます。三匹
は人の役に立てると張り切り、サルとキツネは
木の実や魚をとってきますが、ウサギは残念な
ことに何も取ることができませんでした。そこ
でウサギは何も与えることが出来ないことを
詫び、「私を食べて下さい」と言って焚火の中
に身を投じました。その時、老人は自分が帝

釈天である事を明かし、三匹の行いを
誉めて次の世での人間への転生を約束
し、可哀想なことをしたウサギの姿を
月に残すことにされたのが、月とウサ
ギのかかわりの始まりだと言われてい
ます。

令和五年はお大師様がお生まれに
なつて、千二百五十年の記念の年にな
ります。当山では令和四年に記念事業
として「萬靈堂大改修」を執り行いました。
そして五年四月二十三日には記念の大法要を執
り行います。この日の法要は本堂宮殿の御開帳
をはじめ、小さな柴燈護摩や稚児行列に奉納舞
台、須磨寺山内のお大師様巡りなども行ないま
す。是非ご参拝下さい。

またお大師様のご誕生地の総本山善通寺に於
いては、四月半ばから六月半ばまでの二か月間、
連日のように法要が執り行われ、全国の真言宗
の宗派やご本山による法要が執り行われます。
須磨寺の法要は、五月二十九日午後二時より行
います。せっかくの勝縁ですので、当山にご縁
のある皆様にも一泊二日の団体参拝にご一緒
頂き、信仰も親交も深めたく思っております。
どうぞふるってご参加下さい。

ウサギのお話は諸説あり、ウサギが生き返つ
たお話もありますが、何より「人のお役に立ち
たい」という思いを心して忘れず、日々感謝の
思いと共に、皆様のご健勝とご多幸のために祈
りを重ねてまいります。

令和五年が良き一年となりますように。

合掌

大本山須磨寺 貫主

小池 弘三

十三佛に見守られて(17)

—大日如来(下)—

摩耶山天上寺貫主 伊藤 浄厳

大日如来を絶対的な尊格、諸尊の総主とする二つの經典『大日經』『金剛頂經』のうち、前回は大日經について述べました。今回は大日經を考慮に入れて、金剛頂經について少し述べたいと思います。

一、再度『大日經』について

『大日經』では、密教の最高の悟りの智慧を証得するには、三句の法門—悟りを求める清浄な菩提心を原因とし、大いなる慈悲の発露を根本とし、衆生を救済するためのすぐれた教化方法を考え出して実践することを究極の目的とする—を信修することの大事が説かれています。そしてまた、『大日經』では三句の法門に次いで、「如実知自心」の教えが説かれています。この句は文字通り「自己の心を実の如く明らかに証知すること」です。

弘法大師空海は、この聖句を密教の最高の教えとされ、「如実知自心」とは、迷い苦しむ一切衆生が自己の心の源底に自己と同体の存在として存在していることを覚知(証悟)することだ、と説論されています。正に密教的瞑想の極意であります。

ところで、自己の心中に、一切衆生が自己の同体として存在するという教え

は、真言密教の凡聖不二(生仏不二)の観点からすると、心中の一切衆生は取りも直さず、一切の諸仏諸尊だといえるのであります。かくて、一切衆生は数多の仏・菩薩・明王・天等の一員となって網の目のごとく相互につながり、相互に供養し合っているのです。

二、『金剛頂經』について

密教には、大日經系の密教の他に、大日經より少しおくれて七世紀後半に成立した『金剛頂經』系の密教がありました。この金剛頂經系の諸經典は、主として最高の悟りを得るための事相(実践修行)に關係した教えが多くを占めています。その代表的な修行法は「五相成身觀」です。だが、事相の秘事なので説明は割愛させていただきます。

かくて、真言密教では『大日經』と『金剛頂經』との二經を「金胎兩部の大經」とし、真言密教の所依の經典として格別に重視しています。

なお、大日經系の密教(胎藏界)と金剛頂經系の密教(金胎界)は、インドでは別々に成立発展し、ほぼ同時期に中国に伝えられ漢訳されました。この兩系(兩部)の教えを受け継がれたのが、か

の恵果和尚さまです。

三、弘法大師の受法と功績

弘法大師は密教を学ぶために入唐し、師である恵果和尚から、大日經系と金剛頂經系の密教(金胎兩部の密教)の奥義の一切を受法されました。

その後、弘法大師は師の論しもあり、急遽帰国し、いまだ未完成であった金胎兩部の密教の教えを金胎界曼荼羅並びに胎藏界(生)曼荼羅として整理され、さらに兩界曼荼羅を体系的に構築されました。

そして、弘法大師は密教の奥義を伝えるには、言葉や文章で説明しても、受者(弟子等)が理解するのは極めて困難だと考えられ、受者の視覚に訴えて密教の奥義を感じ得るようにと、兩界曼荼羅の絵圖を制作されたのです。兩界曼荼羅に言及する余裕がないので、ここでは要点のみを記してみます。

◎金胎界曼荼羅

—金剛頂經系の諸尊を系統的に配置した集合圖。金胎界の大日如来を中心にして、主に智慧を司る諸尊の集合圖。

◎胎藏界曼荼羅

—大日經系の諸尊を系統的に配置した集合圖で、胎藏界の大日如来を中心に、主に慈悲を司る諸尊を礼拝する集合圖。大悲胎藏生曼荼羅ともいう。

四、大日如来について

以上のごとく、大日如来は密教の教主で、諸仏諸尊の一切を包括する総主であります。かくて、大日如来は、宇宙の森羅万象をはじめ、あらゆる諸仏諸尊を生成します。従って、すべての諸尊の徳は大日如来の総徳の一部であり、かつ又大日如来に帰一するのであります。

五、十三回忌の守り本尊

この密教の最尊仏である大日如来が、故人の十三回忌に当り、直接密教の奥義を伝授して、守り仏となつて、成仏へと導いて下さるのです。勿体ないほど有難いことなのです。

なお、真言密教のほとんどの寺院では、本堂の内陣か、須弥壇上の本尊のうしろ壁の左右に兩界曼荼羅が掛けられている筈です。

ご住職にお願いするか、あるいは仏画の展覧会や宝物展などの折に、兩界の曼荼羅を是非目の当りにして、心ゆくまで拝観していただければ、きっと感動されると思います。

こうして、亡き人のみ霊はかたじけなくも、大日如来のお導きにあずかります。そして、次の三十三回忌には、虚空藏菩薩が改めて仏教の深遠なる教えのまこと分りやすく教導して下さいます。

除夜の鐘と 千巻心経法要のお知らせ

令和四年十二月三十一日、午後十一時四十五分より例年通り、参拝者の皆様に除夜の鐘を撞いていただきます。先着百八名の方々には、記念品の特別絵馬を授与します。百八番目までの整理券は、午後九時半に鐘撞き堂前にて配布します。

百九番目以降の方も、午前二時までは自由に鐘を撞いていただくことができます。

大晦日の夜当山境内にて、清らかな鐘の音と共に旧年中の煩惱を払い、清々しい気持ちで新しい年をお迎え下さい。

また、同時刻より護摩堂におきまして、千巻心経法要を執り行います。



当山管長導師のもと、旧年の厄を払い、新たな気持ちで新年を迎えられるよう、太鼓の音に合わせて般若心経を唱えます。

新しい年を迎えるに当たって、旧年にも増して皆で助け合い、仏様の智慧をいただき、明るい気持ちで過ごしていけるよう共にご祈念したいと思ひます。

修正会のお知らせ

令和五年一月一日午後二時より、当山本堂におきまして、新春開運修正会（大般若転読法要）を執り行います。

導師が経題を唱えた後に、職衆各々が経本を展開する「転読」という特殊な読みかたで、総数六百巻に及ぶ長大なお経「大般若経」を読誦します。その功力をもって皆様の家内安全、厄除開運から、国家安穩、世界平和に至るまで、一年間の無事を祈念します。

祈願札を申し込まれた方には当日本堂にお入りいただき、導師の加持した経本で身体を加持いたします。

新しい一年のご多幸を、皆様と共にご祈念したいと思います。



授与品

五千元 祈願札（木札）・破魔矢・

腕輪念珠

三千元 祈願札（紙札）・腕輪念珠

申込期限

一月一日正午まで

須磨寺寺務所にて承ります。

須磨寺本坊 正月三が日 特別護摩祈祷のお知らせ

例年正月三が日は、護摩堂にて特別護摩祈祷を厳修しております。

令和五年度は、三が日の間の護摩祈祷札のお申し込みを頂いた方限定で、祈祷札と合わせて当年の守り本尊（文殊菩薩）の梵字入り散華を授与いたします。

ご希望の方は、「正月三が日特別護摩祈祷申し込み用紙」にてお申し込み下さい。

受付での直接のお申し込みは、令和4年1月3日（日）午後2時の座までお受け出来ます。



また、コロナウイルス感染の恐れのある状況下での初詣でに對して、不安をお持ちの方もおいでのことと推察いたします。そこで、郵送でのお申し込みにも対応させて頂きましますので、「新春特別護摩祈祷郵送申し込み用紙」をご確認のうえ、お申し込み下さい。

尚、郵送でのお申し込みは令和2年12月31日（金）必着にて締め切りとさせて頂きましますので、ご了承下さい。

ご不明な点は、本坊寺務所までお問い合わせ下さい。

「正月三が日特別護摩祈祷受付係」

電話 〇七八ー七三二ー〇四一六（代）

蓮生院 一月から三月までの行事予定

写経・瞑想体験会

お寺で写経と瞑想の体験会を致します。気軽にできる写経・瞑想ですので、初めての方もご参加いただけます。疲れた心を癒しにお越しください。
(写経のみ、瞑想のみの参加も可能です。足を組みやすい服装でお越しください)

日時..

一月七日(土)・二十二日(日)

二月二十五日(土)

三月二十六日(土)

写経会 十四時〜十五時半

瞑想会 十六時〜十七時半
(受付は三十分前から)

場所.. 蓮生院本堂

参加費.. 写経五百円・瞑想会千円

護摩行

毎月、二十一日十四時から厄除け大師堂で、二十八日十四時から蓮生院本堂で護摩を致します。お参りは自由なので、護摩行中はご自由にお入りください。

写経・瞑想体験会は事前申し込み制です。

発熱、咳、下痢、頭痛、息苦しさなどありましたら、参加はご遠慮下さい。

マスク着用をお願いします。

当日お昼までに蓮生院の寺務所にお申込みいただくか、お電話でお申し込みください。

諸事情により取りやめになることがあります。

蓮生院電話番号 〇七八―七三一―二三一一

須磨浦公園の蕪村句碑

須磨浦公園で眼下に海を見渡せる展望台の一角に江戸時代中期の俳人・与謝蕪村が詠んだ名句

「春の海 ひねもす 終日 のたり のたりかな」

が刻まれた蕪村直筆の句碑があります。

句碑が建立された昭和五十九年は蕪村没後二百年、弘法大師御入定千百五十年御遠忌の記念の年にあたり、須磨寺先代小池義人貫主がその年に建立された須磨寺三重塔再建で市民から多くの浄財を寄せてもらったお礼にと現代彫刻家の速水史郎氏に制作を依頼し、神戸市に寄贈されました。



蕪村は俳人とともに画家としても知られ、京都で絵の勉強をしていた頃、病気の弟子を見舞いに須磨を訪れ、この句を詠んだと言われています。海が大きく、ゆるやかにうねる様にとらえ、小学校の教科書にも記載されています。しかし、この海が須磨海岸とは地元の人にも余り知られていませんでした。

句の前書きに「須磨浦にて」とある古文書に気付いた正覚院先代真厳和尚が神戸市の関係者らに働きかけ建立する事となりました。

この年に盛大に執り行われた除幕式では、蕪村研究の第一人者、暉俊康隆・早稲田大学名誉教授も出席し、「この句は蕪村が四十六、七歳で俳人としてより画家として有名だった頃の作。須磨浦だけでなく、全国どここの海でも通用する名句」と話しておられました。

正覚院住職 朝倉経義



巡り合えたご縁に感謝する ふたりだけの仏前式

今だから改めて大事にしたい自分たちの結婚式
来世までの結びつきを誓い合い納得のカタチに。



11月の秋晴れの日。若いお二人が須磨寺櫻壽院にて仏前式で結婚式を挙げられました。仏前式とは、仏様や先祖に結婚の報告をし、巡り合えたご縁に感謝する儀式。一度結婚すると来世まで連れ添うという仏教の教えに基づき、新郎新婦が仏の前で来世までの結びつきを誓います。チャペルでの結婚式が一般的ななか、仏前式となるとあまり馴染みがない方も多いと思いますが、結婚式のスタイルが見直されている昨今、若い方々のなかで注目されているそうです。そんななか、お寺でも若い方々から和装&仏式の結婚式を挙げたいという要望を多く受けるようになり、この度、神戸で多くのウエディングを手掛けるウエディングサロンイノウエさんのご協力のもと、お寺での結婚式を挙げていただけるようになりました。厳粛な雰囲気の中、結婚の重みを感じつつ、仏様、ご先祖様に見守られての結婚式も良いのではないのでしょうか？



僧侶による仏前式を行います



新郎新婦によるかためのさかずき



誓詞（誓いのことば）の読み上げ



指輪の交換



両家のご先祖様へ感謝をこめて



数珠の授与があります



お友達もお祝いにかけつけてくれました



ウエディングサロン井上社長と
新郎新婦と住職

近頃、お寺に結婚写真の撮影に来られるのをよくお見受けします。「コロナ禍で結婚式が出来ないのでも撮影だけでも」と伺いました。衣装を着ないのでも構わないなら、そのままお寺で結婚式が出来ると思っていました。そのうち多くの方から相談を伺う様になりました。結婚式を挙げられなかったことを心のどこかで悔いている方が多いことにビックリしました。何か協力出来る事は無いかなと思って下さることとなりました。神仏、ご先祖様の前で誓う結婚式。出来るだけ簡略的に。しかし、衣装は華やかに纏い仏前式が出来ようになりました。諸事情で結婚式をあきらめている人の手助けになれば幸いです。最後に感謝申し上げますがご協力いただいた井上社長に感謝申し上げます。（真英）

1日1組限定

須磨寺櫻壽院

ふたりで誓う寺婚プラン

内容 新郎新婦衣装各1着・メイク&着付け、写真撮影(50カットデータ) **28万円**

☆詳しくは櫻壽院までご相談ください **078-731-0918**





感染症
対策

- ① 昼食会場のお席は間隔をあけてご用意致します。
- ② バス車内、昼食施設に消毒液をご用意致します。
- ③ 乗務員、添乗員はマスクを着用致します。
- ④ バス車内の消毒、換気を徹底致します。

1
泊
2
日

添乗員同行
食事付(朝0、昼1、夕0)

2023年 於 総本山善通寺

大本山須磨寺 弘法大師御誕生 1250年記念大法会

日帰り
バスツアー

(令和5年)

5/29(月)

旅行代金

10,000円

ご旅行代金には「国内旅行傷害保険」@300円の保険料(BT22タイプ)が含まれております。
詳しい内容は、パンフレットを用意しておりますのでご請求ください。

締切日 (令和5年) 5/15(月)

募集人員 80名様 (最少催行人員35名様)

※乗車場所については事前にご希望をご連絡下さい。

湊川神社 == 須磨寺 == <瀬戸大橋経由> = 中津万象園(昼食) =
1 7:30(集合7:15) 8:05(集合7:50)
= 善通寺1250年記念大法会 == 休憩 == 須磨寺 == 湊川神社
13:30 16:30 19:00頃 19:30頃

※天候・交通事情により一部行程が変わる場合や、帰着時間が遅れる場合があります。

申込
お問合せ

☆詳しくは櫻壽院まで

078-731-0918

1泊
バスツアー

(令和5年)

5/29(月)~30(火)

旅行代金

38,000円

入院保険金日額(円)	4500	賠償責任(万円)	3000	携行品(万円)	5
通院保険金日額(円)	3000	救護者費用(万円)	50	死亡後遺障害(万円)	526

締切日 (令和5年) 5/15(月) 募集人員 100名

(最少催行人員35名様)

1	須磨寺 = <瀬戸大橋経由> = 中津万象園(昼食) ==	
	8:30 11:50 13:00	
	== 善通寺1250年記念大法会 == 琴平温泉(泊)	
	13:20 16:30 16:45(予定)	
2	ホテル…金毘羅山自由散策 =	
	11:00	
	= 倉敷アイビースクエアにて昼食 …その後美観地区散策=須磨寺	
	12:00 14:15 17:00	予定

※天候・交通事情により一部行程が変わる場合や、帰着時間が遅れる場合があります。

申込
お問合せ

☆詳しくは須磨寺 寺務所受付まで

078-731-0419

須磨寺の歴史(三十)

― 須磨寺の近代二

山本周五郎の文学碑が須磨寺正覚院道場前に建てられています。これは彼の処女作「須磨寺付近」が須磨寺を舞台にしているもので、それを顕彰して建てられていて、表面には「須磨寺付近」の一節が、裏には読者への遺言とされる文章が刻まれています。「須磨寺付近」は関東大震災で自宅を失った際に須磨に五カ月滞在した経験をもとに書かれたと言われています。当時、須磨は皇室の別荘「武庫離宮」(現在の須磨離宮公園)をはじめとする高級別荘地として知られていました。

別荘地としてだけではなく行楽地としても知られていて、大正十三年(一九二四)に須磨寺が発行した「須磨寺境内全図」を見てみると左半分に須磨寺が描かれ、右半分には池を取り囲むように舞堂や花人形館、動物園が描かれています。前回にも書いた通り、明治四十三年(一九一〇)に兵庫電気軌道株式会社が兵庫―須磨間を開通。桜の名所でもあったので、多くの人が行楽に訪れ賑わっていました。

明治末から昭和初期まで華やかで賑わっていましたが、昭和の大恐慌の影響で催し物が縮小され、今現在公園として整理され、植えられた桜が当時の賑わいを残すのみとなっています。

追記になりますが、戦前に大池を埋め立てて宅地にするという計画があり実行寸前まで話は進んだのですが、地元は反対して「須磨保勝会」を結成し神戸市と議論を重ねていたが、戦争の激化により計画はなくなりしました。もしも計画通りになっていれば現在の須磨寺公園という憩いの場は存在していない可能性もあります。先人に感謝し、これからも大池の環境を伝えていければと思います。

弘法大師御誕生 千二百五十年記念大法会

須磨寺 秘仏本尊 聖観世音菩薩

特別御開帳



柴燈護摩



灌仏会



辻説法 小池陽人



本尊御開帳



柴燈護摩 貴主 小池弘三猊下



稚児



弘法大師御誕生千二百五十年法会



弘法大師御誕生千二百五十年法会

令和五年は弘法大師空海様がお生まれになって、千二百五十年の記念の年になります。須磨寺では、来る四月二十三日（日曜日）に、左記の内容で、大法会を厳修いたします。

そして、大法会に合わせまして、当山本堂の秘仏本尊のご開帳を致します。

この得がたき勝縁のご機会に、是非当山へお参り下さい。

四月二十三日 日曜日

■六時 平座理趣三昧法要 於大師堂

■八時半 秘仏本尊御開帳 稚児大師灌仏会 於本堂内陣

■十時 柴燈護摩 於護摩堂前

■十一時半～十二時 辻説法 法話 小池陽人 於稻荷社前舞台

■十二時 空手演武奉納 正覚院飛龍館道場 於稻荷社前舞台

須磨こども長唄奉納演奏

須磨寺櫻壽院教室 於稻荷社前舞台

一絃須磨琴奉納演奏 於稻荷社前舞台

■十三時半 献花 御詠歌奉詠 於本堂

稚児 僧侶 お練り行列 於参道本堂に向って

■十四時 弘法大師御誕生千二百五十年記念大法会 於本堂

※近日中に稚児の募集を開始します。是非ご参加ください。
※詳しくは、寺務所にてご確認下さい。

令和5年
年間行事 予定表

令和5年
年忌数え年早見表

1月		
■ 1日(元旦)14時	開運修正会(大般若転読)	須磨寺本堂
■ 3ヶ日	10:12・14時 正月特別護摩祈禱	本坊護摩堂
■ 8日	11時半 薬師寺鬼追い式	頼政薬師寺
■ 17日	5時30分 大震災物故者慰霊法要	須磨寺本堂
	10時 大震災物故者慰霊法要	本坊客殿
■ 28日~2月3日	5時15分 寒行(星祭護摩祈禱)	本坊護摩堂
2月		
■ 3日	10:14時 節分星祭護摩祈禱	本坊護摩堂
	15時 節分星祭祈禱	蓮生院
	13時から16時 節分星祭祈禱	櫻壽院
■ 12日	15時 須磨寺先師忌土砂加持法要	本坊客殿
■ 26日	14時 平敦盛・源平戦士追悼法要	須磨寺本堂
3月		
■ 4日	14時 敦盛祭	須磨浦公園 敦盛塚
■ 11日	14時30分 東日本大震災 自然災害物故者慰霊法要	
■ 18日~24日	彼岸会(特別護摩祈禱)	
4月		
■ 1日	14時 十三まいり	
■ 6日~8日	花まつり 灌仏会 甘茶お接待	
■ 17日	9:12・15時 青葉殿 納骨供養祭	
■ 23日	弘法大師御誕生千二百五十年記念法会 御本尊聖観世音菩薩御開帳	
5月		
■ 29日	14時 弘法大師御誕生千二百五十年記念法会 @総本山普通寺	
6月		
■ 15日	10時 弘法大師降誕会	本坊大師堂
7月		
■ 31日	子供寺子屋修行	
8月		
■ 9日	18時 四万六千日法要(みあかり観音)	
■ 12日~15日	盂蘭盆会	
■ 15日	10時 盆大施餓鬼法要(本坊)	本坊客殿
■ 17日	9:12・15時 青葉殿 盂蘭盆会法要	青葉殿
■ 19日	14時 盆大施餓鬼法要(櫻壽院)	櫻壽院本堂
■ 20日	14時 盆大施餓鬼法要(蓮生院)	蓮生院本堂
9月		
■ 20日~26日	彼岸会(特別護摩祈禱)	
10月		
■ 1日	シベリア戦没者慰霊祭	シベリア慰霊碑
11月		
■ 23日(祝)	11時 須磨の火祭り 柴燈護摩	本坊
12月		
■ 31日	23時45分 千巻心経護摩法要	本坊護摩堂
	除夜の鐘	鐘樓堂
	(21時30分 除夜の鐘 整理券配布)	
■ 毎月18日	10時 写経会	本坊客殿
■ 毎月20・21日		お大師さん(縁日)
■ 毎月3・8・13・18・20・21・23・28日	10時 護摩祈禱	

う	とら	うし	ね	い	いぬ	とり	さる	ひつじ	うま	み	たつ
卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午	巳	辰
令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●
羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星
平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	●
金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星
平成11年	平成10年	平成9年	平成8年	平成7年	平成6年	平成5年	平成4年	平成3年	平成2年	平成元年	昭和63年
25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
●	○	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○
計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星
昭和62年	昭和61年	昭和60年	昭和59年	昭和58年	昭和57年	昭和56年	昭和55年	昭和54年	昭和53年	昭和52年	昭和51年
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	○
羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星
昭和50年	昭和49年	昭和48年	昭和47年	昭和46年	昭和45年	昭和44年	昭和43年	昭和42年	昭和41年	昭和40年	昭和39年
49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	●
金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星
昭和38年	昭和37年	昭和36年	昭和35年	昭和34年	昭和33年	昭和32年	昭和31年	昭和30年	昭和29年	昭和28年	昭和27年
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72
●	○	○	●	○	○	●	○	●	●	○	○
計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星
昭和26年	昭和25年	昭和24年	昭和23年	昭和22年	昭和21年	昭和20年	昭和19年	昭和18年	昭和17年	昭和16年	昭和15年
73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84
●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	○
羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星
昭和14年	昭和13年	昭和12年	昭和11年	昭和10年	昭和9年	昭和8年	昭和7年	昭和6年	昭和5年	昭和4年	昭和3年
85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金曜星	日曜星	火曜星	計都星	月曜星	木曜星	羅喉星	土曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星
昭和2年	昭和元年	大正14年	大正13年								
97	98	99	100								
●	○	○	●								
計都星	月曜星	木曜星	羅喉星								

【大厄】 男性：41歳・42歳・43歳
女性：32歳・33歳・34歳

令和5年の当たり星の吉凶表

○	○	●	●	○	●	●	●	●	●
大 木曜星	大 月曜星	大 計都星	大 火曜星	大 日曜星	半 金曜星	末 水曜星	半 土曜星	大 羅喉星	九曜星
この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	この星にあたる人は、前年に引続いて、良い年となります。大いに努力して下さい。ただし、安進や油断、そしち悪事を為すことは、来る年に、大きな災いや苦勞を招くこととなります。十分に注意して下さい。	左記をよく心得て常に信仰と努力とを忘れてはなりません。 「九曜星は数え年早見表を参照」

令和5年
年忌一覽

一周忌	令和四年亡	二十五回忌	平成十一年亡
三回忌	令和三年亡	二十七回忌	平成九年亡
七回忌	平成十九年亡	三十三回忌	平成三年亡
十三回忌	平成十二年亡	三十七回忌	昭和六十二年亡
十七回忌	平成十九年亡	五十回忌	昭和四十九年亡
二十三回忌	平成十三年亡	百回忌	大正十三年亡